

研究区分	学部研究推進
------	--------

研究テーマ	コンケン大学看護学部および米国他大学の国際交流に関する研究				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	太田 尚子
	研究分担者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ
		所属・職名	看護学部・講師	氏名	濱井 妙子
		所属・職名	看護学部	氏名	教員全員
	発表者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ

講演題目	コンケン大学看護学部および米国他大学との国際交流の促進
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>【目的】本研究の目的は、本学部生および教員が海外の本学部間協定校や Collaborative Online International Learning (COIL) 提携校等と教育・研究的な国際交流を促進することである。</p> <p>【成果】新型コロナウイルスの世界的流行により、過去三年間は直接的国際交流の実施が困難であった。しかし、COIL 授業への積極的な取り組みにてオンラインによる本学部生・教員の国際交流は継続的に実施されてきた。本年度は前年度に比べ、より積極的な国際交流が実施された。2022年9月以降は直接的国際交流も再開している。</p> <p>具体的には、2022年5月から2023年3月までにタイ国立コンケン大学と3回、米国のオレゴン健康科学大学と4回、カリフォルニア大学ロサンゼルス校と2回、カリフォルニア大学デイビス校と1回、マルケット大学と1回の合計11回のCOIL授業を実施した。年間を通じて学生の国際交流に対する姿勢や異文化理解、英語力などに向上がみられた。教員においては、米国教員とCOIL教育における国際共同研究を実施し、2023年7月にカナダで開催予定の国際看護師協会学術集会での成果発表が決定した。2022年9月には4年生2名と根岸がコンケン大学看護学部を視察し両校の学生・教員と教育的国際交流を図り、2023年3月にはコンケン大学看護学部の小児看護専門の教員・院生・看護師ら11名が本学部や実習施設等を視察し、本学部小児看護学領域の教員5名との研究交流を実施した。また、複数の他領域教員や学部生とも教育的交流を行った。</p> <p>さらに、本学部を2022年3月に卒業し看護師として働く卒業生2名においては、スコットランド(2022年8月)や台湾(2022年11月)で主催された看護の国際学術集会にて卒業研究のポスター発表を実施した。</p> <p>【今後の展望】</p> <p>2023年5月にはコンケン大学看護学部から交換留学生4名の受け入れが決定し、8月には本学部生4名が同校で「国際看護・保健実習」を実施予定である。今後は、オンライン上だけでなく直接的な教育・研究的国際交流の機会が増えることが予測される。したがって、学生・教員ともに効果的な語学力向上への取り組みや、国際共同研究の推進に努めていく。そのためには、これまでの取り組みの継続的な実施に留まらず、若手教員の海外協定・提携校へ研修の機会も検討していく。</p>